

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-31286

(43)公開日 平成5年(1993)2月9日

(51)Int.Cl.⁵
D 0 6 F 25/00

識別記号 庁内整理番号
B 6704-3B

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平3-191472

(22)出願日 平成3年(1991)7月31日

(71)出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72)発明者 百鬼 和俊

大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ
株式会社内

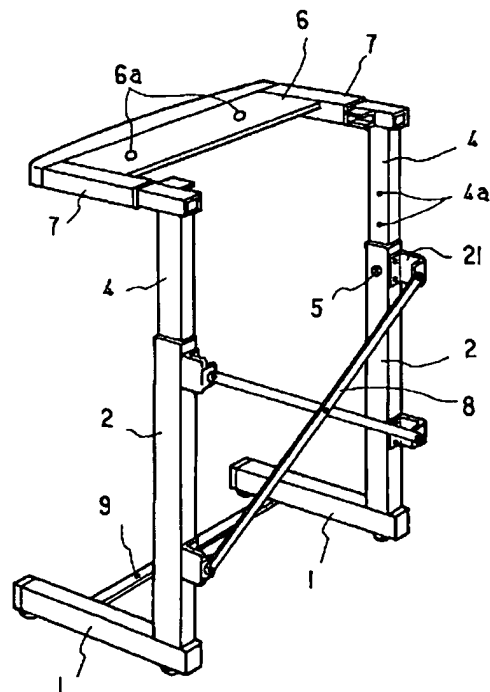
(74)代理人 弁理士 梅田 勝

(54)【発明の名称】 乾燥機用ユニット台

(57)【要約】

【目的】 乾燥機用ユニット台の天板の下部に洗濯機を設置したとき、ユニット台に設けられたX字形の補強材に当接せずに設置できるようにする。

【構成】 乾燥機用ユニット台の左右の支柱2、2の背面に各2個ずつ金具21を取付け、その金具21の最後面にX形状補強材(A)を取付ける。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 脚部と支柱をL字形に固定して左右に配置し、前記支柱に上下にスライドする逆L字形のスライド部材を嵌挿し、このスライド部材に天板を取り付け、前記支柱の後方にX形状の補強材で組立てられた乾燥機用ユニット台において、該乾燥機用ユニット台を洗濯機設置用の防水パンに設置した時、前記X形状の補強材が、前記防水パンの内寸法より外側に位置するように、前記支柱にX形状の補強材を設けたことを特徴とする乾燥機用ユニット台。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、一般家庭において使用する衣類乾燥機設置用のユニット台に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、乾燥機用のユニット台としては図7に示すようなものが知られている。以下図面に基づいて説明すると、脚部1と支柱2をL字形に固定された支柱組品3及び支柱に嵌挿し上下にスライドする逆L字形のスライド部材4が左右一対をなし配置され、スライド部材4と支柱組品3はネジ5にて固定されている。なお、スライド部材4に設けられた複数の穴4aから固定用の穴を選定することにより、段階的に高さが調節できるようになっている。

【0003】天板6には乾燥機取付用の穴6aが設けられ、側部2ヶ所にはパイプ材7が天板6と固定的に取付けられている。なお、設置する乾燥機の奥行に応じて天板6の位置が調節可能となるよう天板6はパイプ材7を前後にスライドするようになっている。天板6はネジ止めによってパイプ材7に固定されている。

【0004】また左右一対の支柱組品3、3はX形状補強材(A)8及び棒状補強材9により連結固定されている。なお、X形状補強材(A)8は平板で、支柱2の背面に直接取付けられているため天板6の下部の奥行寸法は支柱2の背面までとなる。

【0005】一般的に、ユニット台の天板6に乾燥機10が設置されるとともに、天板6の下空間には洗濯機11が設置されている。

【0006】また一方、近年一般家庭において、洗濯機設置用のスペースとして防水パン12が普及してきている。この防水パン12は排水口(図示せず)を有するトレイ状のものであり、外周は、高さ40～85mm程度、幅25～30mm程度の壁で囲まれており、奥行内寸法は560～600mm程度を有する樹脂性のものが多く用いられている。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】洗濯機の容量が大きくなるに従い、外形寸法も大型化が進み、上記のような従来のユニット台のセットでは、X形状補強材(A)8の

位置関係により、洗濯機11とユニット台が防水パン12の中に設置できない状況が発生している。

【0008】すなわち、図8に示すように防水パン12にユニット台をセットすると、大型の洗濯機11(一点鎖線)はX形状補強材(A)8が邪魔になって設置できない。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するための手段として、本発明は、ユニット台の左右一対の支柱に設けたX形状補強材と支柱背面とに隙間を設ける。すなわち、X形状補強材を、防水パン周辺に設けられている壁の内壁より外側に位置するようにするものである。

【0010】

【作用】上記構成により、防水パンの内側の空間を充分活用し、洗濯機を設置することが可能となる。

【0011】

【実施例】以下、本発明の実施例について図面に基づいて説明する。なお、従来例と同じ箇所には同じ符号を付す。

【0012】(第1実施例)図1～図3は本発明の第1実施例を示しており、図1は乾燥機用ユニット台の外観斜視図であり、図2は金具の外観斜視図、図3は図1に洗濯機をセットした側面図である。

【0013】支柱組品3は、L字形に固定された脚部1と支柱2から構成され、支柱2には逆L字形のスライド部材4が嵌挿され、スライド部材4に設けられた複数の固定用穴4aより任意のものを選択しネジ5にて固定することにより、ユニット台の高さを段階的に調節できるような構造になっている。

【0014】支柱組品3とスライド部材4は、左右一対になるように配置され、スライド部材4には、乾燥機固定用の穴6aを有する天板6が両側に固定的に取付けられたパイプ材7により前方より嵌挿され、スライド部材4に固定されている。なお、天板6の位置は乾燥機の奥行寸法により段階的に調節が可能となるようにスライド部材4及びパイプ材7にネジ止め用の穴(図示せず)が設けられネジ止めされている。21は、支柱組品3の背面に、後方に突出するように設けられた金具で、最後面は支柱2の背面と平行な面を有している。金具21は左右の支柱2にそれぞれ2個ずつネジ止め等により固定的に取付けられており、金具21の最後面に設けられたネジ穴21aには、X形状補強材(A)8が取付けられている。9は支柱組品3の脚部1の位置を安定させるための棒状補強材である。

【0015】上記のように構成した乾燥機用ユニット台に、乾燥機10と洗濯機11とを配置する状態を説明すると、図3に示すごとく、防水パン12上にユニット6を置き、天板7に乾燥機10を配置し、天板7の下部すなわち左右の脚1、1間の防水パン12上に洗濯機10を配置する。なお乾燥機10は天板7の穴7aにネジ止

3

めされていることはいうまでもない。

【0016】ここで、支柱2に設けられたX形状補強材(A)8は、防水パン内寸法LよりAだけ外部に突出しているため、洗濯機11を防水パン内寸法L内に配置しても、洗濯機11はX形状補強材(A)8に当接することはない。

【0017】なお、防水パン12の内寸法Lの大きさによっては、金具21の高さHを変えることでA寸法を確保することができる。さらに、金具21の形状は図示したものに限定するものではなく任意に設定するものである。

【0018】(第2実施例)図4～図6は本発明の第2実施例を示している。本発明は、第1実施例のX形状補強材(A)8の支柱2への取付部の4箇所をL字形に折曲したものである。図4は、本発明のX形状補強材(B)22を支柱2の背面に取付けたユニット台の外観斜視図である。図5はX形状補強材(B)22の平面図で、図6は同じく図5のB-B線断面図である。

【0019】図4のユニット台でX形状補強材22を除くと第1実施例での詳細な説明と同じであるので、本発明の詳細な説明は省略する。

【0020】X線補強材(B)22のL形取付部22aに設けられたネジ穴22bによって、支柱2にネジ止めすることで取付けられる。L形取付部22aの高さhは、X形状補強材(B)22が防水パン内寸法Lより外部に位置するような高さにすればよい。

【0021】なお、本発明は第1実施例および第2実施例に限定されるものではなく、本発明の範囲内で上記実施例に多くの修正および変更を加え得ることは無論である。

4

【0022】

【発明の効果】本発明は以上のような構成になっているので下記のような効果を奏する。防水パン上に乾燥機用ユニット台を設置し、その防水パン上に洗濯機を設置しても、ユニット台の支柱背面に取付けられたX形状補強材は、防水パンの内寸法より外側に位置しているため、洗濯機はX形状補強材に当接することなく、防水パン内寸法全体を有効に使って、設置することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例の乾燥機用ユニット台の外観斜視図である。

【図2】同じく金具の外観斜視図である。

【図3】同じく同一のユニット台に乾燥機および洗濯機を設置した状態の側面図である。

【図4】本発明の第2実施例の外観斜視図である。

【図5】同じくX形状補強材の平面図である。

【図6】同じく図5のB-B線断面図である。

【図7】従来の乾燥機用ユニット台の外観斜視図である。

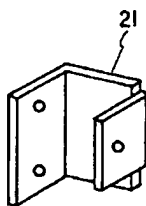
【図8】同じく図7の側面図で仮想的に洗濯機を設置した図である。

【符号の説明】

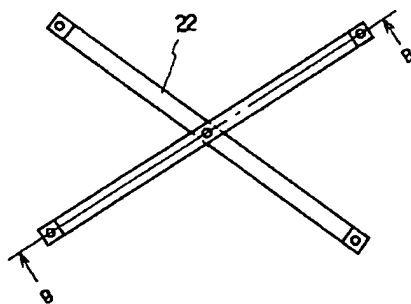
- 1 脚部
- 2 支柱
- 3 支柱組品
- 8 X形状補強材(A)
- 12 防水パン
- 21 金具
- 22 X形状補強材(B)

30

【図2】



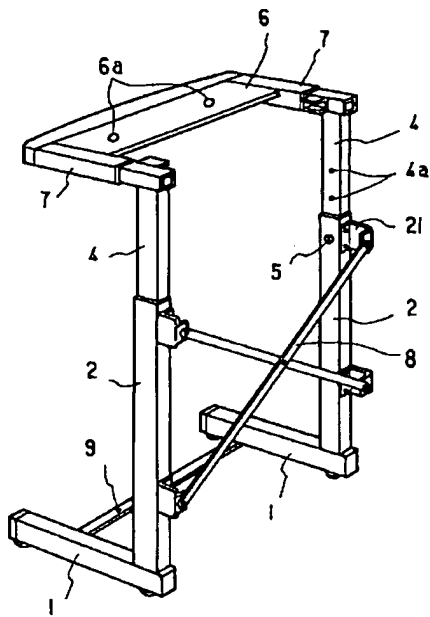
【図5】



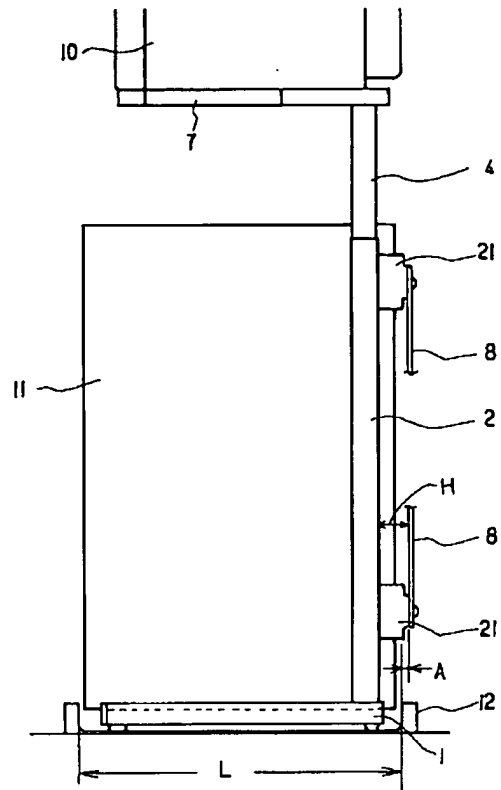
【図6】



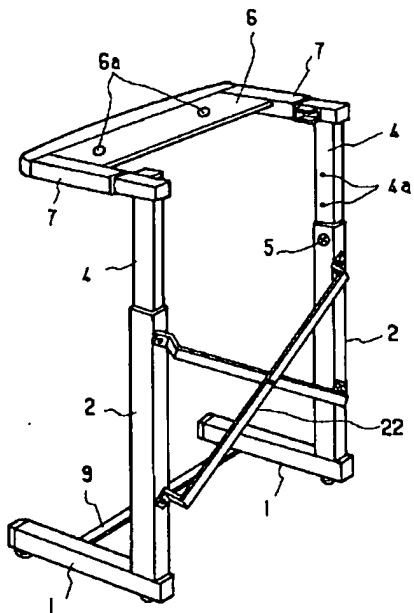
【図1】



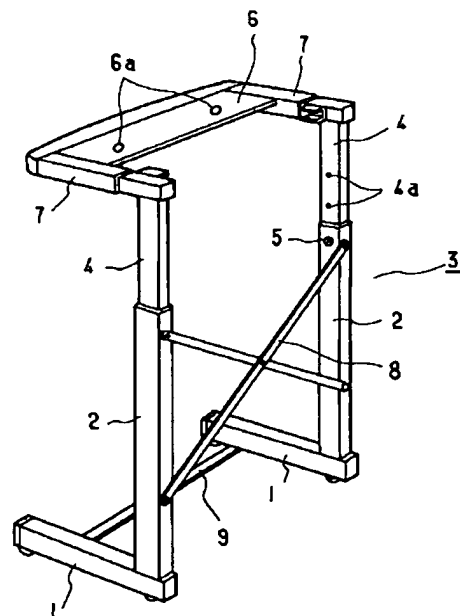
【図3】



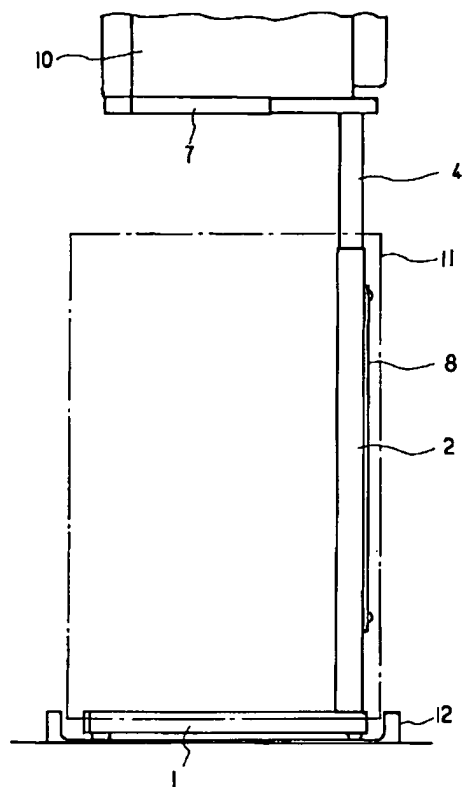
【図4】



【図7】



【図8】



PAT-NO: JP405031286A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05031286 A
TITLE: UNIT STAND FOR DRYER
PUBN-DATE: February 9, 1993

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
HYAKKI, KAZUTOSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME SHARP CORP COUNTRY
N/A

APPL-NO: JP03191472
APPL-DATE: July 31, 1991

INT-CL (IPC): D06F025/00
US-CL-CURRENT: 248/676

ABSTRACT:

PURPOSE: To install a washing machine to the lower part of the top board of the unit table for dryer without abutting on an X-shaped reinforcement member on the unit table.

CONSTITUTION: On the back of the right and left supports 2 of the unit table for dryer, two hardwares 21 are fitted, respectively, and an X-shaped reinforcement member 8 is fitted on the rearmost surface of the hardware 21.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.